

## 人権キャラバン



### ～一緒に遊ばないとダメなの?～

そら組の子が段ボールハウスを作っていたところにじ組の子が「入れて」とやって来ます。「だめ。今そら組だけで作ってるんだもん」と言うAさん。そこにじんおくんがやってきて「そうだよ。小さい子が来たら壊れちゃうから遊ばなくていいよ」と言いました。次にやって来たけんこさんは「今遊べないならあとで遊ぼって言ったらいんじゃないかな」との意見。小さい子にも一緒に遊びたい気持ちがあるように大きい子にも今したいことがあるかもしれません。そんな時は、自分のしたいことや気持ちを相手に伝えることができれば素敵だねと確認しました。

異年齢で遊ぶことも多い園生活。自分の気持ちを言葉にして伝えられるように仲立ちしていきたいと思います。 奥山 愛花

## 7月

- 3日 誕生会
- 6日 夏期保育(8月31日まで)
- 14日 避難訓練
- 22日 1号終業式(17日から変更します)

## 8月

- 21日 避難訓練
- 28日 誕生会  
そらキャンプ説明会

## 水あそび・どろんこ

だんだんと気温の高い日も増え、水あそびの季節がやって来ました。今年度は、コロナ感染防止でどうしても密を避けることができないため、プールあそびを取りやめました。水あそび・どろんこを十分に楽しむためにはどうしたら良いか職員も試行錯誤しながら過ごしています。

つき・ほし・そら組でどろんこをした際、一人の子が「見て。こうやったら石が出てくるんよ」と砂に水をかけて中から石を探すというあそびをしていました。周りの子ども巻き込んで宝探しをする子どもたち。どろんこといえば泥団子を作ったり、泥でままごとをしたり、泥の感触を楽しんだりするだけでなく、子どもたちにとってはそれもどろんこあそびなのだと思えることができた一場面でした。大人が思いつかないような発想をどんどん取り入れてあそびを発展させながら、今年の夏も水あそび・どろんこあそびを思う存分楽しんでいこうと思います。



# いちよの森だより



いちよの森こども園 園だより No.35



いちよの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。

<https://ichinomori.okayamakodomokyoukai.jp/>



小さな経験を積み重ね



毎年各クラスで野菜の栽培に取り組んでいます。今夏のゆき組は、なすとサニーレタスを育てています。

種まきをした時、子どもたちは「なんだろう?」と不思議そうな顔で手のひらに乗せた種を反対の手でつついてみたり、口に入れようとしてみたりしていました。保育者が「野菜のなすができるんだよ。レタスができるんだよ。おいしいのを作ろうね」などと声をかけても、なかなかその野菜とは結びつきません。無理ありません。それでも一人が種を持つと僕も私もというように、そばにいた子どもたちも種に手を伸ばします。このような経験の中で野菜を育てること食べてみることに興味を持つことにつながっていきたく思います。

少し育ってきた頃のこと。子どもたちとサニーレタスを見に行くと、周りに少し草が生えてきていました。保育者が抜いているとまねして一緒に抜こうとします。けれど、子どもたちが抜きたいのはサニーレタス…。草を伝えながら一緒に草抜きをしました。その時にレタスも一緒に間引き、小さいですがサニーレタスを食べてみました。マヨネーズをつけて渡してみると、どんどんお替わりをして食べる子、マヨネーズだけ舐めて出してみる子などいろいろでした。

年齢が上がりこのような経験の積み重ねから、野菜や草花に対して関心を高めたり、野菜の変化に気づき愛着を持ち世話ができるようになっていたり、楽しんで収穫し自分たちで育ててきたものを食べる喜びを味わうことができるようになっていたりしていけばいいと思います。

これからもどんどん成長していく野菜に関わることができるよう、水をやったり、草をとったり、毎日見に行ったりなどの経験を少しずつ重ねていきたいです。

栗正 茜音



# 外あそび大好き！

## そらぐみ

逆上がりに挑戦中です。保育者がいくら誘っても全く興味を示していなかったような子が、友だちががんばっている姿を見て「自分もできるかな？やってみようかな？」と刺激を受けてやろうとします。上手く回れた日は「やったね」と見守っていたこどもたちがみんなで拍手し喜びを共感しています。

最初は全く回れなかった子も手ぬぐいを使って補助するとコツがつかめて、回れるようになってきて、こども同士の力ってすごいな、と改めて感じる毎日です。



## にじぐみ



広い園庭で、かくれんぼをすると「もういいかい」「まあだよ」「もういいよ」の声が響きます。友だちを探すために右へ左へ大忙し。保育者が思わず「そんな所に隠れていたの？」というような場所（ベンチの下の隙間など）に隠れていることもしばしばです。「さっきは鬼になったから次は隠れる番」と役割分担も上手になってきました。こどもたちの“楽しかった”“もう一回やってみよう”の経験をこれからも大切にします。

## ほしぐみ



戸板登りやサーキットなどの身体を動かすあそびにチャレンジしています。友だちの姿を見て、身体の使い方を考えたり、「どういう風に渡れば上手に渡れるかな」など自分なりに考えたりして、試して遊んでいます。

身体を使ってくりかえし遊ぶ中で「昨日よりも登ることができた」「今日はできた」など、こどもたちの自信に繋がっています。

いろいろなあそびに挑戦する中で、成功体験だけでなく失敗も経験しながら、こども自身に力をつけていけるよう、見守っていきたくと思います。

戸外に出ると、一目散に砂場に向かうこどもたち。4月は砂場に行くとき砂を口に入れようとする姿が多かったのですが、砂場の玩具入れの中を自分でたしかめ、気に入ったものを見つけて手に取るようになりました。

型抜きをして見せるとすぐに潰してみたり、ふるいをして見せると真似して同じことをしてみようとしていたりしています。

これからも一緒に遊ぶなかで、砂場あそびの楽しさを伝えていきたいです。

## ゆきぐみ



戸外では、走ったり登ったり身体を動かすことも楽しんでいますが、何よりも外には自然がたくさん。こどもたちは、虫探しや石集めに夢中です。バケツに蓋をしてひそひそ話をしている子たちがありました。「何やってるの？」と聞くと小さい声で「ダンゴムシをつかまえたの。お花と葉っぱあげたんよ。これからお昼寝の時間なんよ」と。2人でそっと蓋を開いては「まだ寝てないね」と大事そうに見ていました。こどもたちには、小さな虫やただの石でも宝物なんだなと思いながら、邪魔せずそっと見守る保育者です。

## つきぐみ



## はなぐみ



散歩車に乗って、公園に散歩に出かけました。公園の周りには綿毛がゆらゆら風に揺れていたり、よもぎが大きくなっていたりしました。中でもこどもたちがよく見ていたのは、道端にたくさん咲いている黄色い花でした。花をとって渡すとまず右手に、もう一つ渡すと左手にと両手に持って満足そうに笑ったり、花びらが気になってちぎったりしていました。

自然が溢れる環境を生かして、戸外に出かけて季節を感じながら遊びたいです。